

平成22年6月21日

広島市議会議長  
藤田博之様

提出者  
広島市議会議員

谷口	修	太田	憲二
山田	春男	平木	典道
沖宗	正明	中原	洋美
永田	雅紀	三宅	正明
桑田	恭子	母谷	龍典

子供の医療費の無料化を国の制度として実施することを求める  
意見書案

上記の意見書案を別紙のとおり提出する。

衆議院議長	} あて
参議院議長	
内閣総理大臣	
総務大臣	
財務大臣	
厚生労働大臣	

広島市議会議長名

子供の医療費の無料化を国の制度として実施することを求める意見書案

「子供が病気の時、費用の心配をせずに安心して病院にかかれるように」ということは、子育て世代の切実な願いです。

こうした中、子供の医療費無料化の流れは全国に広がり、すべての都道府県が子供の医療費助成を行っています。また、多くの市区町村では、都道府県の助成制度に加え、対象年齢の引上げや所得制限の緩和など独自の取組が行われています。

しかしながら、多額の経費を必要とする子供の医療費助成をそれぞれの自治体が独自に行うことには限界があり、自治体間に格差があるのが現状です。

我が国の少子化の進展に歯止めをかけるためにも、子供にかかる医療費を無料にすることは緊急の課題であり、本来、国の責任において果たされるべきものと考えます。

よって、国会及び政府におかれては、当面、小学校に入学するまでの子供を対象にした医療費の無料化を制度として実施されるよう強く要請します。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出いたします。